

身体運動科学演習

[演習] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》○山口明彦 yama@hoku-iryo-u.ac.jp、西出真也 井上恒志郎

【概要】

身体運動科学、運動生理学、および神経生理学分野における研究手法として、特にヒトを対象とした解析技術（呼吸循環器系機能評価、中枢神経系機能評価）や動物を対象とした解析技術（生体サンプルを用いた遺伝子・タンパク質の発現解析、免疫組織化学解析など）について概説し、実際の研究遂行に必要な基本的解析技術を身につける。

【学修目標】

運動科学分野の基本的解析技術を身につけるため、身体運動科学・運動生理学・神経生理学分野における基礎的解析手法を身につける。

1. ヒトを対象とした解析技術（呼吸循環器系機能評価、中枢神経系機能評価）を実践できる。
2. 動物を対象とした解析技術（生体サンプルを用いた遺伝子・タンパク質の発現解析・免疫組織化学解析など）を実践できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	演習内容に関するオリエンテーションを行う	山口明彦 西出真也 井上恒志郎
2～8	ヒトを対象とした解析技術に関する演習	身体運動科学分野における研究手法として、特にヒトを対象とした解析技術（呼吸循環器系機能評価、中枢神経系機能評価）について概説し、実際の研究遂行に必要な基本的解析技術について学習する。	山口明彦 西出真也 井上恒志郎
9～15	実験動物を対象とした解析技術に関する演習	身体運動科学分野における研究手法として、特に実験動物を対象とした解析技術（生体サンプルを用いた遺伝子・タンパク質の発現解析、免疫組織化学解析など）について概説し、実際の研究遂行に必要な基本的解析技術について学習する。	山口明彦 西出真也 井上恒志郎

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

レポートによる評価を行う（100%）

【教科書】

特に指定しない

【参考書】

特に指定しない

【備考】

特に指定しない

【学修の準備】

関連分野の文献等、関係資料を各自調査し学習すること。（120分）

ヒトを対象とした解析技術について、予習と復習をする。（120分）

動物を対象とした解析技術について、予習と復習をする。（120分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、高度専門職業人としてリハビリテーション科学の実践に寄与できる優れた知識・技術と研究能力の基礎を修得するというリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。